

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

墨 江 小 学 校

児童数

97

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.47	19.39	32.04	37.24	43.80	9.35	144.15	25.47	51.67
大阪市	16.48	19.16	32.16	38.84	48.29	9.39	147.79	22.76	52.23
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	14.88	16.15	37.47	36.02	31.33	9.64	133.02	14.62	51.28
大阪市	16.06	17.79	36.86	36.98	37.66	9.66	140.64	13.79	53.50
全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

結果の概要

体力合計点をみると、男子・女子ともに大阪市、全国平均を下回った。種目別にみると、男子は8種目中5種目（上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび）、女子は8種目中6種目（握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび）がそれぞれ全国平均を下回る結果となった。特に、男子・女子とも「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は、全国・大阪市平均に比べるとその差が顕著である。

一方、ソフトボール投げで、男子は約3m、女子は約1m全国平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 男子は、運動・スポーツに対する意識が高く、「運動が好き」「体力に自信がある」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」とする回答の割合が全国平均を上回った。特に、「体育の授業は楽しい」という回答は、全国平均を1割以上上回った。
- 女子については、上記4項目の質問事項は全て全国平均を下回る結果となった。特に、「体育の授業は楽しい」という質問項目で「楽しい」とする回答が全国平均よりも2割以上も下回っており、男子と大きな開きが見られた。また、「運動が得意」「体力に自信」についても、全国・大阪市平均を大きく下回った。
- 今年度の子どもの特徴として、男子に比べ女子に運動・スポーツに対する意識が低い傾向が見られた。
- 昨年度は、ほぼ1年間運動場が本来の広さでない中、なわとびやかけ足といった取り組みができず、子どもたちの運動量も例年に比べ少なかった。今後は、整地された運動場、サブグラウンドの活用を通してなわとびやかけ足といった取り組みも充実していく。
- 日々の授業の目標をはっきりと示し、ふり返る活動を取り入れるなど楽しい体育の授業をさらに追究していく。